

令和 6 年度 事 業 報 告

1. 事業運営の背景

令和6年度の我が国は、元日に令和6年能登半島地震が発生し、夏から秋にかけて台風や記録的な豪雨などの自然災害にも見舞われました。さらに、認証不正問題に伴う一部自動車メーカーの工場稼働停止が国内の生産活動を大きく下押ししました。

また、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されておりましたが、米国トランプ大統領の関税政策の影響による景気の下振れリスクの高まりの中、国内の物価上昇の継続が消費者マインドを下振れさせ、個人消費に及ぼす影響などもあり、我が国の景気を後退させる状況となりました。

その中で、令和6年度の国内の新車販売台数は、一部メーカーの出荷停止で上半期は落ち込みが見られましたが、秋から回復に向かい、3年連続で前年度超えの**457万5705台**前年度比**1・0%増**（登録車が**1・6%増**の294万8294台、軽自動車が**0・1%増**の162万7411台）となりましたが、コロナ前には約1割届きませんでした。

一方、富山県内の新車販売台数については、前年度比**3・2%減**の**4万4441台**（登録車**2・7%減**の2万6481台、軽自動車**4・1%減**の1万7960台）と3年ぶりの減少となりました。

自動車業界を取り巻く環境は引き続き厳しく、人口減少の中での慢性的な人手不足や、歴史的な円安、資材・エネルギー価格の高止まり、半導体・部品の供給制約など、依然として多くの懸念材料が積み残されたままの状況です。

さらに、2024年問題や、県内の鉄道路線の存続や、バス路線、タクシーなどの地方公共交通の維持、さらには、カーボンニュートラルなどの様々な課題への対応が求められる状況が続きました。

2. 事業運営の概要

令和6年度は、令和6年3月19日の第2回理事会で承認された事業運営の基本方針と重点事項に基づく事業運営をめざしました。

昨年度に続き、今年度も関係機関・団体の参加を得て、「**T o y a m a まるっとクルマフェスタ2024・第39回自動車なんでも無料相談**」を開催。また、「**とやま環境フェア2024**」にも出展するなどの活動を行ってきました。

さらに、①関係機関との連携の維持強化、②関係団体との連絡協調体制の維持、③令和7年度国・県予算に対する要望事項のとりまとめと関係機関への提出、④自動車の安全確保と環境保全を中心とした公益事業の実施、並びに、⑤円滑な組織運営の保持などに努めてまいりました。

実施事業（公益事業）の自動車の安全の確保では、「春の全国交通安全運動」の初日に、会員3団体（自動車販売店協会、自動車整備振興会、軽自動車協会）と合同で、交通

安全意識の高揚と夜間の交通事故防止を図るための「蓄光反射リストバンド」を富山県へ贈呈するとともに、関係機関並びに関係団体等とともに、夏・秋・年末の交通安全運動期間における広報・啓発活動を行いました。

また、環境の保全では、地球温暖化問題がますます顕在化する中、富山県のエコドライブ推進運動や、「デコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）」の一環としての「宅配便の再配達削減推進WG」にも参画してきました。

一方で、各種手続きのオンライン化等の影響により、当会議所における印紙・証紙の売り捌き実績による手数料収入は、登録車の継続検査で「自動車保有関係手続きのワンストップサービス（OSS）申請」が開始された平成29年4月以降減少が続いております。

令和6年度は、OSSが一定の高止まりとなったこともあって、前年度比3・6%（約103万円）の減収となり、引き続き大変厳しい財政状況が続いております。

富山県におけるOSS申請の実績は、下記のとおり、継続検査が、登録車、軽自動車とも、全国トップクラスの利用状況となっており、新車のOSS申請も増加する中で、重量税印紙の売上げに大きな影響が出ています。

〔令和7年3月のOSS申請実績〕

登 録 車	…	新車新規	58・0%	、継続検査	90・3%
軽自動車	…	新規届出	77・0%	、継続検査	89・0%

※太字は過去最高

従いまして、令和6年度においても大変厳しい財務状況の中で、全体として諸経費の節減に努めるとともに、業務の効率化を図り、窓口相談利用者の利便の向上に対応してまいりました。

（１）関係機関との連携の維持強化

北陸信越運輸局富山運輸支局をはじめ富山県及び同自動車税センター、独立行政法人自動車技術総合機構北陸信越検査部富山事務所、軽自動車検査協会富山事務所、並びに、独立行政法人自動車事故対策機構などの関係機関との連携の維持強化を図るとともに、担当部署などと日常的・緊密な連絡の保持に努め、行政の円滑な推進に寄与しました。

（２）関係団体との連絡協調体制の維持

関係団体全体の必要不可欠な情報の交換や、業界全体として取り組むべき事業の検討を行うための「関係団体事務局代表者会議」については、今年度、令和6年4月15日、7月8日、10月10日、令和7年1月14日の4回開催しました。

（３）自動車の安全確保と環境保全に関する公益事業の拡充（詳細別掲）

関係機関・関係団体・会員等と連携を図り、「春・夏・秋・年末の全国交通安全運動」への参加はもとより、公益事業として「たっしゅけ気つけられ運動」、「マナー・チェック・ライトの3アップ運動」、「交通安全チャレンジ1・2・3運動」などの交通安全活動や、自動車点検整備推進活動、不正改造車両追放運動、街頭検査活動へも積極的に参加してきました。

また、「とやま環境フェア2024」に出展すると共に、環境とやま県民会議に参画し、「エコドライブ推進運動」、「3R運動」に参加。また、宅配便の「再配達防止」のWGに参画し、これらの普及・推進など環境保全に関する啓発活動の展開に努めました。

（４）令和7年度国・県予算に対する要望事項のとりまとめと要望（詳細別掲）

当会議所の法税制委員会・公益事業委員会・情報委員会の合同委員会については、8月書面開催により、「国・県予算に対する要望事項」について、自動車関係諸税の簡素化・軽減など11の要望事項をとりまとめ、関係機関へ要望しました。

（５）交通事故被害者の援護等

交通事故被害者を援護するため、例年通り独立行政法人自動車事故対策機構富山支所を通じて、公益財団法人交通遺児等育成基金に対して5万円を贈呈しました。

3. 窓口取扱い業務

令和6年度の窓口取扱い業務にかかる、各印紙・証紙の売上げ実績は、令和5年度比で富山県税証紙が6%増加したものの、その他の自動車検査登録印紙、審査証紙、自動車重量税印紙の売上高は、引き続きOSS申請への移行の影響もあり減少しました。

特に重量税印紙については、登録車の継続検査でOSS申請が開始された平成29年4月以降減少が続いており、令和6年度は前年度比、7.7%（約202百万円）の減少となりました。

※各年度の印紙売上げ実績

（単位：千円）

取扱い業務	令和6年度売上高	令和5年度売上高	前年度比 （%）
検査登録印紙	210,944	229,592	91.9
審査証紙	106,387	106,506	99.9
富山県税証紙	1,287,202	1,213,920	106.0
重量税印紙	2,433,402	2,635,260	92.3
合 計	4,037,935	4,185,279	96.5

4. 庶務事項

令和7年3月31日現在、会員数は28名で、令和6年度中の増減はありません。

役員数は、前年度から1名減の18名です。

事務局の役職員数は11名で、前年度と変更はありませんが、令和6年度中に1名減員、1名増員となりました。

(1) 会員数（令和7年3月31日現在：会員名簿別掲）

会 員 28名

(2) 会員並びに代表者及び役職の変更

会 員 名	新	旧	変更月日
富山自家用自動車協会	副会長 田 中 洋一郎	副会長 山 口 昌 広	R6. 5. 10
一般社団法人富山県自 家用自動車協会連合会	会長 山 口 昌 広	会長 河 上 彌一郎	R6. 5. 23
一般社団法人富山県自 動車整備振興会	会長 黒 澤 敏	会長 池 田 治 郎	R6. 5. 30
日本通運株式会社北陸 東支店	支店長 金 岡 賢 一	支店長 木 平 豊	R6. 7. 1
高岡交通株式会社	代表取締役社長 渡 辺 寛 人	代表取締役社長 渡 辺 守 人	R6. 10. 1

(3) 役員数（令和7年3月31日現在：役員名簿別掲）

理 事 16名（期中1名減員）

監 事 2名（期中異動なし）

(4) 事務局（令和7年3月31日現在）

専務理事 1名

常務理事 0名

職 員 10名（うち、嘱託2名）期中、継続雇用1名減員、嘱託1名増員

(5) 登記事項

令和 6年 7月 9日 「役員の変更に関する事項」の登記

(6) 報告事項（なし）

5. 総会・理事会・監事会の開催等

(1) 定時総会

日 時 令和 6年 6月18日（火）

場 所 富山市桜橋通り2-28

ホテルグランテラス富山 会議室

会員総数 28名

出席会員数 24名

委任状提出者 5名

議 題

第1号議案 令和5年度事業報告及び決算報告について

第2号議案 任期満了に伴う役員の改選（案）について

以上、いずれも原案どおり承認されました。

(2) 理事会

① 第1回理事会

日 時 令和 6年 6月 4日（火）

場 所 富山市新庄町字馬場24番地の2

富山県自動車会館 第1研修室

理事総数 15名

出席理事数 11名

議 題

第1号議案 令和5年度事業報告（案）及び決算報告（案）について

第2号議案 任期満了に伴う役員の改選（案）について

第3号議案 令和6年度定時総会の日程及び提出議案について

以上、いずれも原案どおり承認されました。

② 第2回理事会

日 時 令和 6年 6月18日（火）

場 所 富山市桜橋通り2-28

ホテルグランテラス富山 会議室

理事総数 15名

出席理事数 11名

議 題

第1号議案 会長（代表理事）、副会長、専務理事（業務執行理事）の互選について

第2号議案 顧問・相談役の委嘱について

以上、いずれも原案どおり承認されました。

③ 第3回理事会

日 時 令和 7年 3月12日（水）

場 所 富山市新庄町字馬場24番地の2

富山県自動車会館 第1研修室

理事総数 16名

出席理事数 12名

議 題

第1号議案 令和6年度事業及び決算の執行状況報告について

第2号議案 事業拡張引当資産の積立てについて

第3号議案 令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

以上、いずれも原案どおり承認されました。

(3) 監事会（持ち回り開催）

日 時 令和 6 年 5 月 1 3 日（月）・1 4 日（火）
議 題

- ・令和5年度の業務及び会計並びに公益目的支出計画の実施の状況を明らかにする書類の監査について

以上、各事項とも正確かつ適正なことが確認されました。

6. 委員会の開催

(1) 法税制・公益事業・情報合同委員会

8月に書面により開催し、「令和7年度国・県予算に対する要望書」を策定し、関係機関等に要望しました。

7. 業界懇談会の開催

(1) 北陸信越運輸局次長との懇談会

日 時 令和 6 年 4 月 2 6 日（金）
場 所 富山市新庄町字馬場82
富山運輸支局 1階会議室

出席者 26名

令和6年4月1付け国土交通省の人事異動で交代された軸丸真二北陸信越運輸局次長と関係団体の代表者とで、当面の諸問題等について意見交換しました。

8. 陳情・要望活動

(1) 令和7年度国・県予算に対する要望書の提出

8月に書面により開催した合同（法税制・公益事業・情報）委員会において承認された「令和7年度国・県予算に対する要望書」を、国及び県の関係機関等へ提出しました。

要望内容及び提出先につきましては、7ページから17ページの通りです。

令和 7 年度

国・県予算に対する要望書

令和 6 年 8 月 30 日

一般社団法人富山県自動車会議所
会 長 辻 川 徹



一般社団法人富山県自動車会議所は、運輸業、自動車の販売・整備、自家用自動車の使用等にかかる別紙の諸団体、並びに、企業によって構成されています。

(別紙として末尾に会員名簿を添付)

はじめに

平素は、富山県における自動車関連業界の発展に、格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

自動車業界は裾野が広く、その影響は日本経済全体に及びますが、現在、自動車産業は１００年に一度の大変革期のただ中にあると言われております。電動化・自動化の国際的な競争、物流の２０２４年問題に象徴されるような働き方や、労働人口の担い手の問題、そして今年の賃上げ等に見られる自動車産業５５０万人の賃金・雇用の問題など、避けては通れない課題が目白押しという状態です。

加えて、２０５０年カーボンニュートラルの実現や、ＤＸ・ＧＸの推進、さらには従来の自動車の枠を超えた「新しいモビリティ社会」の構築に、自動車産業は力を合わせて取り組んでいかなければなりません。

また、県内の住民にとって大切な公共交通機関であるバス、タクシーなどにおきましては、この間の利用者減少に歯止めがかからない中で、新型コロナウイルスの影響による乗客減を未だ取り戻すまでにはいたらず、事業経営が逼迫する減収が続き、トラック事業においても、各社の経営努力にも拘わらず、歴史的な円安による燃料価格の高騰という負担増も加わり、大変厳しい状況が続いております。

自動車業界の社会的な責務として、交通安全の確保や地球環境の保全などその取り組むべき課題は山積しております。

特に「税制」については、２０５０年カーボンニュートラル実現を視野に入れながら、２０２６年で切れるエコカー減税や、その後の税体系全体をどうしていくのかなど、ユーザーの視点にたった税制改正における自動車関係諸税の簡素化・軽減に向けた抜本的な見直しに期待しているところであります。

このような状況の中で、令和７年度の国・県の予算編成と税制改正にあたりまして、豊かで、安全で、環境に優しい「くるま社会」の実現のため、当自動車会議所として別紙のとおり要望いたしますので、その実現に向けてご尽力いただきますようお願い申し上げます。

要 望 事 項

Ⅰ. 加重で複雑な自動車関係諸税の負担軽減・簡素化

複雑な税体系の中で、自動車ユーザーだけが特別な負担を強いられる状況は変わらず、「税負担の公平」の原則に反し、納得が得られるものとはなっていません。

また、一世帯あたりの自動車保有台数は、交通アクセス等に恵まれない地方ほど多く、より重い税負担を負うことになり、都市と地方の格差拡大を助長するものであります。

2050年カーボンニュートラルの実現のためには、自動車の枠にとどまらない幅広い議論が求められ、モビリティがもたらす新たな経済的・社会的受益者の拡がりを踏まえ、負担軽減・簡素化を前提に、受益と負担の関係を再構築し、ユーザーの税負担の軽減、仕組みの簡素化等を内容とする抜本的見直しの早期実現が求められています。

引き続き、道路特定財源の一般財源化により、課税根拠を失った自動車関係諸税について、「当分の間」として上乗せされている税率（旧暫定税率）を速やかに廃止するとともに、車体課税について、軽自動車の税率を基準とする税体系にするなど、抜本的な見直しを行って簡素化・負担軽減を図られるよう要望します。

合わせて、次の個別要望事項についても、具体的な対応を図られるよう重ねて要望します。

- （１）自動車税、軽自動車税のグリーン化特例の特例基準の緩和、並びに、適用期間の延長
- （２）エコカー減税並びに自動車重量税の燃費基準緩和と、適用期間の延長
- （３）軽油引取税の旧暫定税率の廃止
- （４）一般財源化されている自動車重量税について、道路特定財源としての位置づけを明確化して、道路ネットワークの整備等に用途を限定
- （５）自動車関係諸税における営自格差の拡充
- （６）バス事業に係る自動車関係諸税の大幅な負担軽減・簡素化
- （７）燃料費の高騰による燃費サーチャージ制の貸切・高速バス事業への導入、並びに、燃料価格激変緩和対策事業の拡充
- （８）中古自動車の環境性能割額については、自動車登録申請手続きにあたり、予め、各県税センターに問い合わせをしないと正確な環境性能割額を把握出来ない状態になっています。OSSの普及で他県への自動車登録手続きの簡素化、容易化が図られる中、正確な環境性能割額を確認するにはFAX等での県税センターとのやり取りが欠かせず、時間、人件費等極めて無駄が多い状態です。そのため、環境性能割額を決定するにあたっては決定要件を簡素化することで、容易に税額を知ることが出来るような対応を図っていただきたい。

2. 環境改善等に資するインセンティブ（減税及び助成支援）の拡充

- （１）先進的な安全装備を装着した一定性能を持つ自動車について、購入時の補助金や保有による減税など、その「— 2 —」の財政措置を拡充・強化されたい。
- （２）環境に優れた自動車の普及は、地球温暖化防止と大気汚染防止の観点から重要であり、「クリーンエネルギー自動車導入促進補助金（CEV 補助金）」があるものの、この制度は未だ対象車種が少ないなど環境整備が整っていないことから、導入実績が少なく制度の効果が薄いので、環境に優れた自動車（新車・中古車、事業用・自家用問わず）の購入に係る支援策を、国レベルのほか県レベルでも策定し、実施されたい。
- （３）高齢化社会に向けたバリアフリー対応車（ノンステップバス・リフト付きバス）及び最新燃費基準達成車等、環境に優しいバスの導入に向けて、「低公害バス導入促進事業補助金」の拡充を図るとともに、新たな支援策の策定をされたい。
- （４）地域交通のグリーン化に向けた次世代自動車普及促進事業による、燃料電池・電気・天然ガス等のタクシー・バス・トラックの普及に係る補助金を拡充されたい。
- （５）バス・タクシー・トラックなど公共輸送事業における事故防止及び被害軽減を図るため、衝突被害軽減ブレーキ等の ASV（先進安全装置）装着車・デジタル式運行記録計・ドライブレコーダー・過労運転防止機器等の導入のための支援措置を拡充されたい。
- （６）観光振興の一翼を担うべく、旅行割キャンペーン等観光振興策の実施、並びに貸切バスの利用促進への支援を拡充されたい。
- （７）石油石炭税の「地球温暖化対策のための課税の特例」について、産業や国民生活に密接不可分な公共性の高い事業用バス、トラックに使用される軽油についての補助を拡充されたい。

3. 道路関係予算の拡充、並びに、道路整備計画の策定とその実現

国においては、「第5次社会資本整備重点計画」により、富山県においても「社会資本総合整備計画」により、社会資本の整備が進められております。中でも道路は、国民生活や産業・経済社会を支える最も基本的な社会資本であり、「豊かで活力ある地域社会」と「セーフティーでクリーンな車社会」の実現のためにも、欠かせないものであります。

また、豪雪による道路の通行止めや滞留・渋滞などの事態の発生は、物流面での支障、路線バス・市内電車など公共交通の不通などの事態を招いております。

そのため、安全で快適な道路環境の整備と災害・事故・医療の緊急非常事態等に十分対応できる信頼性の高い道路ネットワークの整備などのため、次の道路関係予算、並びに、道路整備について、その実現を図られるよう要望します。

(1) 道路関係予算の拡充

- ① 冬期における道路交通確保のための除排雪体制の一層の拡充・強化と、適時適切な道路交通情報の提供体制並びに、燃料供給体制の強化
- ② 高速道路料金等の値下げ・割引の拡充
 - ア. NEXCO3社の料金水準の引下げ
 - イ. 車種区分の検討におけるトラック輸送への十分な配慮
 - ウ. NEXCO3社の大口・多頻度割引を、実質 50%割引に拡充
 - エ. NEXCO3社、首都高速、阪神高速における、車渋滞対策等に資する料金・割引制度の設定
- ③ 労働環境改善および交通流動最適化を図る高速道路料金制度の拡充
 - ア. 長距離遞減割引の拡充
 - イ. 深夜割引の拡充
 - ウ. 渋滞対策等に資する料金・割引制度の設定
- ④ 休憩・休息施設、中継物流拠点の整備・拡充
 - ア. 高速道路の SA・PA、道の駅における駐車スペースの整備・拡充
 - イ. 大型車駐車マスの幅の拡大
 - ウ. 高速道路の一時退出を可能とする措置の拡充(NEXCO3社)
 - エ. シャワー施設等、休憩・休息建屋内の施設の充実
 - オ. 中継物流拠点の全国展開による中継輸送の推進

(2) 道路整備計画の策定とその実現

- ① 高速道路ネットワークの整備・充実
 - ア. 「重要物流道路」の指定、指定道路への集中投資
 - イ. 暫定 2 車線区間の早期 4 車線化
 - ウ. ミッシングリンクの解消
 - エ. 渋滞対策の推進
 - オ. ダブル連結トラックや自動運転などの推進に資する実施環境整備の推進
- ② 県内の一般国道 8 号線（バイパス含む）の早期全区間 4 車線化
- ③ 東海北陸自動車道暫定 2 車線区間（着工区間含む）の早期 4 車線化と安全性に優れた中央分離帯の設置等安全対策の推進
- ④ 能越自動車道（高規格幹線道路）の国による管理の一元化と通行料金無料化の推進
- ⑤ 県内道路全般の歩道や自転車レーンの設置並びに拡幅と、冬期における道路交通の確保のための除雪・消雪体制と消雪装置の拡充
- ⑥ 県内主要地方道路の交差点における通行区分帯（右折・左折）の拡充と整備
- ⑦ 県内の老朽化が進む道路施設の長寿命化のための計画的な整備
- ⑧ 高速道路と民間施設を直結する民間施設直結スマート IC 制度及び中継拠点の設置や SA・PA の活用による中継輸送の推進
- ⑨ 富山県と長野県を直結する「北アルプス横断道路」の整備

4. 「2024年問題」解決に向けた支援

バス・タクシーといった公共交通分野や、トラック物流業界において、人手不足が叫ばれるようになって久しい中、2024年4月から、労働時間に関する規制が変更となりました。

バス事業をはじめタクシー・物流等の運輸業界全体の課題として、「長時間労働」、「低い賃金体系」、「人手不足」が上げられており、その解決のためにも、国、県をはじめ、利用者、事業者を含めた対応が求められており、当面、次の個別要望事項について、具体的な対応を図られるよう要望します。

- (1) バス・タクシー等の運転者不足問題解消に向けた支援
- (2) 標準的な運賃・燃料サーチャージの確実な収受に向けた支援
- (3) 荷主対策の深度化の更なる推進
- (4) 労働生産性の向上や人材確保等に係る支援
 - ① 労働生産性の向上や労働環境改善に向けた支援
 - ② 運転者不足問題解消に向けた、人材確保・人材育成に対する支援
 - ③ 特定技能制度による外国人材の活用

5. 富山県地域交通戦略による構想実現

富山県においては、令和4年度に富山県地域交通戦略会議が立ち上げられ、ウェルビーイングの向上を目指し、これからの地域交通のあり方はどうあるべきかが議論されてきました。本会議の議論を基に令和6年2月20日に、「将来にわたって持続可能な地域交通サービスを確保するため」「富山県地域交通戦略」を策定し、「今後の地域交通のあるべき姿や自治体・県民等が果たすべき役割、そして関係者でともに取り組むべき施策など」をまとめた新たな地域公共交通計画が策定され、富山県の地域交通の目指すべき目標や基本的な方向性が示されました。

今後は、本計画の実施状況等を計画的にフォローアップしていくことが求められます。

つきましては、バス・タクシー事業の維持・改善に資する次の施策につき、必要な支援を講じられるよう要望します。

- (1) 地方における生活交通バス路線の維持確保
- (2) 地域におけるバスの活性化及び二次交通整備の取組に対する支援
- (3) 高齢化社会に向けたバリアフリー対応車（ノンステップバス・リフト付きバス）及び最新燃費基準達成車等、環境に優しいバスの導入支援
- (4) 燃料価格高騰に伴う支援
- (5) バスターミナルや道路ネットワークの整備の推進を図るとともに、交差点改良等の安全・渋滞対策事業の強化
- (6) 繁華街や観光施設等におけるタクシー・ベイの設置

6. 事故破損車両の修復後の検査制度の導入等

- (1) 車体整備基準や事業場等施設基準の確立を図るため、道路運送車両法第78条の一部を改正し、自動車車体整備事業の認証制度を創設されたい。
- (2) 一定規模以上破損した自動車の安全の確保を図る観点から、事故破損車両の修復後の検査制度を導入されたい。
- (3) 自動車車体整備士による修復を行った車両については、「車体修理記録簿」と「修理保証書」を発行して、修理品質の安全確保を担保する制度の確立と普及を図られたい。

7. 自転車損害賠償保険等の周知と加入の促進

平成31年3月に制定された「富山県自転車活用推進条例」による自転車損害賠償保険加入について、努力義務規定とされていますが、近年、自転車に起因する事故が多発しており、死傷者も出ている状況で、道路交通法ではすべての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となっています。

被害者本人及び被害者家族が事故後も経済的に安心して暮らせるために、保険加入を「努力」ではなく、「義務」規定としていただきたい。

8. 安全・安心で豊かな社会作り、ユニバーサル社会の実現

すべての人が暮らしやすい社会の実現に向け、社会資本の整備と交通の整備にユニバーサルデザイン「どこでも、だれでも、自由に、使いやすく」の考え方を踏まえ、円滑な移動と円滑な施設利用を総合的に推進するため、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）」により、各市町村が基本構想を策定し、関係者が一体となって取り組むことになっています。

しかしながら、県内市町村において計画を策定しているところは少数であり、同法による計画策定がなされていない市町村に対して、早期に策定されるよう適切に指導されるとともに、取り組む関係者への支援措置を充実されたい。

9. 「面的な低炭素地域づくり」をすすめるための環境整備

地球温暖化によるここ数十年の気候変動は、人間の生活や自然の生態系にさまざまな影響を与えて、氷河の融解や海面水位の変化、洪水や干ばつなどの影響、陸上や海の生態系への影響、食料生産や健康など人間への影響が観測され始めています。

令和5年7月、環境省が「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」として「デコ活」を提唱し、富山県においても「デコ活宣言」を行い脱炭素に繋がる取り組みを進められているとことです。

その一助としての下記事項について、その実現を図られるよう要望します。

(1) 自家用自動車のエコドライブの普及啓発

エコドライブに対する認識は浸透しつつあり、実践にあたってもバス、タクシー、トラックの営業用自動車につきましては、着実に取り組みがなされておりますが、マイカーにつきましては、あまり実践がなされていない状況にあります。

現在、富山県ではエコドライブ推進運動が実施されておりますが、環境・安全・経費削減と大変有効な取り組みでありますので、県民に対する継続的な啓発活動とともに、県民が容易に取り組むことができる環境整備（道路環境、交通環境、オーソライズ、インセンティブなど）を図られたい。

(2) 「カーボンニュートラル推進事業」の一層の推進

国・県・市町村の行政、民間など関係者が一堂に会して、情報を共有し、意見交換などができる場を県レベル、又は市町村レベルで設置するとともに、「面的な低炭素地域づくり」が容易に取り組める支援策などの環境整備を図っていただくよう要望します。

10. OSS利用促進策とユーザー負担の軽減策の同時実現

自動車登録手続きに際し求められる自動車保管場所証明申請、各種税申告申請及び自動車登録申請をワンストップで行えるOSS制度が普及することは、ユーザーの負担軽減策にも繋がることから、今後も一層の普及を目指し推進する必要があります。

その推進にあたっては、自動車登録申請に添付資料として求められる「自動車保管場所証明書」について、他の必要書類と同様に、OSS自動車登録申請とは分離して電子申請が行えるよう措置していただきたい。

現在、ユーザーが経費節減目的で「自動車保管場所証明」申請を（窓口において）紙申請で行うと、この段階でOSS申請ができなくなるため、ユーザー自らによる「自動車保管場所証明電子申請」を分離することは、結果としてOSSの利用促進に資することになり得るし、ユーザー負担の軽減にもつながることから、その実現を同時に図られるよう要望します。

11. 自動車会議所への委託業務等の拡大

（一社）富山県自動車会議所は、富山県内における自動車関係団体の中核かつ総合団体としての活動を行っていますが、その業務の一環として、自動車の保有関係手続きに必要な自動車重量税印紙、自動車検査登録印紙、県税証紙等の売りさばき、自動車税（環境性能割・種別割）申告書審査補助等の、国並びに県の自動車検査・登録業務に欠かすことの出来ない重要な役割を担っております。

一方、国においては、登録・検査業務のOSS等電子申請化が加速され、当会議所の主要な収入源である関係印紙及び証紙の売りさばき手数料等の減収が顕著となってきており、当会議所の機能維持のためには、必要経費の節約に努めると共に、

売り捌き手数料等の大幅な引上げや、新たな業務の委託拡大等が、必要不可欠となっております。

つきましては、富山県からの自動車税申告書照合補助等業務委託料の引き上げ、並びに、国・県における印紙・証紙等の売り捌き手数料の引き上げ等について、ご配慮を頂きますよう要望いたします。

以 上

一般社団法人富山県自動車会議所 会員名簿

令和6年8月1日現在 28名

会 員 名	代 表 者 名
公益社団法人 富 山 県 バ ス 協 会	会 長 中 田 邦 彦
富 山 県 タ ク シ ー 協 会	会 長 土 田 英 喜
一般社団法人 富 山 県 ト ラ ッ ク 協 会	会 長 高 田 和 夫
一般社団法人 富山県自家用自動車協会連合会	会 長 山 口 昌 広
富 山 県 自 動 車 販 売 店 協 会	会 長 品 川 祐 一 郎
一般社団法人 富 山 県 自 動 車 整 備 振 興 会	会 長 黒 澤 敏
富 山 県 軽 自 動 車 協 会	会 長 浅 生 忠 和
富山県自動車車体整備協同組合	理 事 長 橋 本 雅 雄
富 山 県 中 古 自 動 車 販 売 協 会	会 長 加 藤 直 樹
富 山 県 レ ン タ カ ー 協 会	会 長 品 川 祐 一 郎
一般財団法人 日本自動車査定協会富山県支所	支 所 長 小 林 誠
一般社団法人 日 本 自 動 車 連 盟 富 山 支 部	支 部 長 笹 山 泰 治
富 山 県 輸 入 自 動 車 販 売 店 協 会	会 長 北 川 善 昭
富 山 県 二 輪 車 普 及 安 全 協 会	会 長 西 口 幸 介
富 山 地 方 鉄 道 株 式 会 社	社 長 中 田 邦 彦
加 越 能 バ ス 株 式 会 社	社 長 松 井 康 浩
富 山 交 通 株 式 会 社	社 長 土 田 英 喜
桜 井 交 通 株 式 会 社	社 長 神 谷 慶 志 郎
高 岡 交 通 株 式 会 社	社 長 渡 辺 守 人
日本通運株式会社北陸東支店	支 店 長 金 岡 賢 一
ト ナ ミ 運 輸 株 式 会 社	社 長 高 田 和 夫
富 山 通 運 株 式 会 社	社 長 高 野 美 津 男
富 山 自 家 用 自 動 車 協 会	副 会 長 田 中 洋 一 郎
富 山 日 産 自 動 車 株 式 会 社	社 長 岩 島 達 郎
富 山 い す ゞ 自 動 車 株 式 会 社	社 長 池 田 治 郎
富 山 日 野 自 動 車 株 式 会 社	社 長 小 林 誠
トヨタモビリティ富山株式会社	社 長 品 川 祐 一 郎
トヨタカローラ富山株式会社	社 長 黒 澤 敏

・要望書提出先

自由民主党富山県支部連合会政務調査会長	永森 直人 殿
北陸信越運輸局長	佐橋 真人 殿
北陸信越運輸局富山運輸支局長	中村 幸春 殿
富山税務署長	三浦 一郎 殿
北陸地方整備局富山河川国道事務所長	佐藤 保之 殿
富山県知事	新田 八朗 殿
富山県議会議長	山本 徹 殿
富山県警察本部長	高木 正人 殿
中日本高速道路株式会社金沢支社 富山保全・サービスセンター所長	三井 貴行 殿

・要望書提出日

令和 6 年 8 月 30 日

9. 公益事業活動

(1) 交通安全活動

①富山県自動車点検整備推進協議会、②不正改造車両追放連絡協議会、③富山県交通対策協議会及び同幹事会、④富山県交通安全チャレンジ1・2・3運動実行委員会、⑤富山県高速道路交通安全協議会等の一員として、交通安全計画の推進に努めるとともに、関係団体と連携して新聞、リーフレットなどによる啓発活動を実施して、交通安全の確保に努めました。

①「交通安全運動」期間中の活動

「春の全国交通安全運動」、「夏の交通安全県民運動」、「交通安全チャレンジ1・2・3運動」、「秋の全国交通安全運動」等の期間を定めた運動と共に、「交通安全県民の日」、「マナー・チェック・ライトの3アップ運動」等の年間を通した運動のポスター、リーフレット等の関係団体への配布、会議所窓口における掲示、配布などの啓発活動を実施しました。

②交通安全啓発用品の贈呈

「春の全国交通安全運動」の開始に際して、4月5日(金)富山県庁前広場で行われた特別行事において、会員3団体（自動車販売店協会、自動車整備振興会、軽自動車協会）と合同で、交通安全意識の高揚と、夜間の交通事故防止を図るための蓄光反射リストバンド3,400個を富山県へ贈呈しました。



③自動車点検整備推進活動

例年、「夏の全国交通安全運動」期間中に実施している自動車点検整備推進活動を、7月12日(金)北陸自動車道上り線の有磯海サービスエリアにおいて、富山県自動車点検整備推進協議会の一員として参加し、点検整備の重要性などについての普及啓発に努めました。

(2) 環境保全活動

富山県の「環境とやま県民会議」、「エコドライブとやま推進協議会」、及び、「とやま環境フェア2024実行委員会」等の一員として活動するとともに、環境ポスターの掲示、リーフレット等の配布などを行い、環境保全に関する普及・啓発に努めました。

① エコドライブ運動

富山県並びに（公財）とやま環境財団の支援・後援を得て、エコドライブの普及啓発のための、「マメにエコドライブしよう」、「マメにエコドライブしています」のマグネット式ステッカーなどを活用した、通年の「マメにエコドライブしよう」キャンペーンを展開するとともに、「エコドライブとやま推進協議会」の会長選出団体として「エコドライブの推進・支援に取り組みました。



また、富山県が実施する「エコドライブ宣言運動」の普及・啓発に努めました。

② 「とやま環境フェア2024」へ参加～エコドライブの大切さをアピール～

10月12日(土)・13日(日)の両日、富山テクノホールで開催された「とやま環境フェア2024」に、北陸信越運輸局と共同で出展しました。

「水と緑に恵まれた幸せ富山をめざして～デコ活ってなに!? 脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動に乗り遅れるな!」と題して開催された今回の環境フェアは、当会議所も実行委員となっている同フェア開催委員会の主催で、県内外から54のグループ、団体が出展しました。



クイックアームとクイックステップで自らの敏捷性や加齢による体力の衰えを実感してもらいながら、アンケートで、自動車による環境への負荷の軽減や交通事故の減少に繋がる「エコドライブ」の大切さを確認してもらいました。

また、ディーラー3社のご協力でエコに繋がる次世代自動車の展示も行いました。

フェアに参加していた芸人やピエロも参加し、アームとステップを合わせ2日間で687人が体験するなど、楽しくにぎやかな取り組みとなりました。

(3) 「Toyama まるっとクルマフェスタ2024～第39回自動車なんでも無料相談」を開催 ～1,000名の来場者で賑わう～

一般の方が、日ごろ抱えている、登録手のワンストップサービスや税金、検査・整備のことや交通事故など、自動車に関する疑問点及び苦情について、無料で相談を受け、それらの不平・不満を解消するとともに、自動車関係業界の魅力と役割について、広くPRすることを目的に、10月20日、富山運輸支局構内において「第39回自動車なんでも無料相談」を開催しました。



令和6年は、当会議所会員の自動車関係団体、北陸信越運輸局富山運輸支局等の関係機関で構成する「Toyama まるっとクルマフェスタ2024実行委員会」を結成し、



新たに、①「UD タクシー」の展示と車いす乗車体験、②ラッピングトラックの展示、③電動カートの展示・試乗などの新しいイベントも実施。会場は、今年も約1,000名の来場者で賑わいました。

県内の各ディーラーの協力で13台の最新車を展示。自動車事故対策機構（NASVA）の衝突実験車両の展示や、着ぐるみ「ナスバちゃん」も登場し、自動車事故防止・被害者支援の啓発・広報にも努めました。

マイカー無料点検や、普段は見られない車検場の見学など、広く車に関心をもってもらえるような盛りだくさんの内容で家族連れの来場者も目立ち、子どもたちも車に関心を持ってくれたのではないかと思います。



10. 関係団体事務局代表者連絡会議の開催

- | | | |
|-------|---|--|
| (1) 日 | 時 | 令和 6年 4月15日(月) |
| 場 | 所 | 富山運輸支局 1階会議室 |
| 議 | 題 | <ul style="list-style-type: none"> ① 国土交通省等の人事異動について ② 北陸信越運輸局・軸丸次長業界懇談会の開催について ③ 自動車関係団体代表者名簿並びに緊急連絡先一覧表 ④ 令和6年度の各団体総会等の開催予定について ⑤ Toyama まるっとクルマフェスタ 2024「第39回自動車なんでも無料相談」の開催について |
| (2) 日 | 時 | 令和 6年 7月 8日(月) |
| 場 | 所 | 富山運輸支局 1階会議室 |
| 議 | 題 | <ul style="list-style-type: none"> ① 関係団体の総会等を終えて ② Toyama まるっとクルマフェスタ 2024「第39回自動車なんでも無料相談」の開催について ③ 「とやま環境フェア2024」への出展について ④ 令和7年度国・県予算に対する要望書について |
| (3) 日 | 時 | 令和 6年10月10日(木) |
| 場 | 所 | 富山運輸支局 1階会議室 |
| 議 | 題 | <ul style="list-style-type: none"> ① 「とやま環境フェア2024」への出展について ② Toyama まるっとクルマフェスタ 2024「第39回自動車なんでも無料相談」の開催について ③ 令和7年度国・県予算に対する要望書について ④ 令和6年度自動車関係団体窓口業務打合せ会議の開催について |

- (4) 日 時 令和 7 年 1 月 1 4 日 (火)
場 所 富山運輸支局 1 階会議室
議 題 ① 令和6年度自動車関係団体窓口業務打合せ会議の開催について
② Toyama まるっとクルマフェスタ 2025「第40回自動車な
んでも無料相談」の開催について
③ 令和7年の各団体総会等の開催予定について

11. 「Toyama まるっとクルマフェスタ2024」実行委員会

(1) 実行委員会結成準備会

- 日 時 令和 6 年 5 月 8 日 (水)
場 所 富山運輸支局 1 階 会議室
議 題 ① 「Toyama まるっとクルマフェスタ 2023」の開催の経過と
実施結果について
② 「Toyama まるっとクルマフェスタ 2024」開催にあたって
③ 実行委員会の結成
④ 当面の具体的活動について

(2) 第1回実行委員会

- 日 時 令和 6 年 6 月 1 0 日 (月)
場 所 富山運輸支局 1 階 会議室
議 題 ① これまでの経緯
② 「Toyama まるっとクルマフェスタ 2024」開催にあたって
③ 具体的な実施事業・イベントについて

(3) 第1回幹事会

- 日 時 令和 6 年 7 月 2 3 日 (火)
場 所 富山運輸支局 1 階 会議室
議 題 ① 具体的な実施内容の検討、調整
② PR方法の検討、実施

(4) 第2回実行委員会

- 日 時 令和 6 年 9 月 1 9 日 (木)
場 所 富山運輸支局 1 階 会議室
議 題 ① 「Toyama まるっとクルマフェスタ 2024」実施要領 (案)
について

(5) 第3回実行委員会

- 日 時 令和 6 年 1 1 月 1 4 日 (木)
場 所 富山運輸支局 1 階 会議室
議 題 ① 実施事業の具体化について
② 当日のスケジュールについて

1 2. 上部団体の総会・理事会等

(1) 一般社団法人日本自動車会議所

① 第90回定時総会（リモートで出席）

日 時 令和 6年 6月11日（火）

場 所 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館 経団連ホール
議案審議

第1号議案 2023年度事業実績・2024年度事業計画

第2号議案 2023年度決算・2024年度予算

第3号議案 理事・監事選任

② 全国自動車会議所専務理事会

i 第111回（リモートで出席）

日 時 令和 6年10月17日（木）

場 所 大分県大分市田室町9-20 レンブラントホテル大分
議 題

1. 日本自動車会議所 活動報告

2. 課題、情報共有

3. 事務局からの伝達事項

ii 第112回（リモートで出席）

日 時 令和 7年 2月20日（木）

場 所 愛知県名古屋市中区栄4-6-8 名古屋東急ホテル
議 題

1. 日本自動車会議所 活動報告

2. 課題、情報共有

3. 事務局からの伝達事項

③ 会員研修会《リモート》

i 第300回

日 時 令和 6年 4月23日（火）

テ ー マ イノベーションが未来を拓く

ii 第302回

日 時 令和 6年 7月 3日（水）

テ ー マ 脱炭素における交通セクターの課題と将来展望

iii 第304回

日 時 令和 6年 9月26日（木）

テ ー マ 自転車と電動キックボードの交通事故分析

iv 第305回

日 時 令和 6年10月27日（月）

テ ー マ 自動運転「レベル4」無人路線バスの実現に向けた取り組み
v 第307回

日 時 令和 7年 1月27日（月）

テ ー マ 能登半島地震を教訓とした職場での災害対応～新しい知見で防災
をアップデートする～

④ CSP大賞オンラインミーティング

日 時 令和 6年 9月12日（木）

（2）全国自動車検査登録印紙売捌人協議会

① 第64回通常総会

日 時 令和 6年 6月13日（木）

会 場 東京都港区高輪4-10-30

品川プリンスホテル

審議事項

第1号議案 令和5年度事業報告（案）及び令和5年度収支計算書（案）

第2号議案 令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）

第3号議案 会費の額及び徴収方法（案）

第4号議案 役員の補選（案）

13. その他の会議・行事・活動等

（1）定例連絡会議（富山運輸支局主催）

① 日 時 令和 6年 4月15日（月）

場 所 富山運輸支局 1階会議室

主な議題 i 4月1日付け人事異動について

ii 自家用車活用事業について

iii 商用車の電動化促進事業について

② 日 時 令和 6年 7月 8日（月）

場 所 富山運輸支局 1階会議室

主な議題 i 災害時等における業務継続の可否について

ii 流通業務の総合化及び効率化の促進に関する法律及び貨物自動車
運送事業法の一部を改正する法律について

iii 自動車検査標章の変更について

③ 日 時 令和 6年10月10日（木）

場 所 富山運輸支局 1階会議室

主な議題 i 富山運輸支局長表彰式について

ii とやま環境フェア2024について

- iii Toyama まるっとクルマフェスタ2024について
- iv 「交通空白」解消本部の設置について
- v 車検の受検期間について
- vi 大型車の車輪脱落事故防止啓発活動について

④ 日 時 令和 7年 1月14日（火）

場 所 富山運輸支局 1階会議室

- 主な議題
- i 令和7年栄典事務日程について
 - ii 年末年始の安全輸送総点検の実施について
 - iii 「トラック・物流Gメン」への改組と体制の拡充について
 - iv 自賠償証明書の電子化について
 - v 車検証の有効期間について（注意喚起）

（2）交通安全関係会議・行事・活動

- | | |
|----------|-------------------------------|
| 6年 4月 5日 | 春の全国交通安全運動における特別行事 |
| 17日 | 「交通安全チャレンジ1・2・3運動」実行委員会 |
| 5月24日 | 富山県交通対策協議会幹事会（書面協議） |
| 27日 | 富山県高速道路交通安全協議会通常総会 |
| 7月12日 | 高速安協「夏の交通安全県民運動」（北陸自動車道有磯海SA） |
| 8月 1日 | 富山県交通対策協議会幹事会（書面協議） |
| 9月 3日 | 第61回富山県交通安全県民大会 |
| 10月21日 | 富山県交通対策協議会幹事会（書面協議） |
| 7年 2月 3日 | 「交通安全チャレンジ1・2・3運動」実行委員会 |
| 10日 | 富山県交通対策協議会委員会（書面協議） |
| 17日 | 富山県交通対策協議会幹事会（書面協議） |
| 3月 3日 | 富山県「交通安全チャレンジ1・2・3運動」会計監査 |

（3）環境関係会議・行事・活動

- | | |
|------------|-------------------------|
| 6年 4月22日 | 富山県県土美化推進県民会議総会 |
| 6月25日 | とやま環境フェア2024第1回実行委員会 |
| 7月10日 | エコドライブとやま推進協議会 |
| 8月29日 | とやま環境フェア2024第2回実行委員会 |
| // | 第6回宅配便の再配達削減推進ワーキンググループ |
| 10月12日～13日 | とやま環境フェア2024 |
| 12月19日 | とやま環境フェア2024第3回実行委員会 |
| 7年 3月11日 | 第7回宅配便の再配達削減推進ワーキンググループ |
- （リモート）

(4) その他の会議・行事・活動

6年	4月24日	(公社) 富山県バス協会監事会
	5月10日	富山自家用自動車協会評議員会
	14日	(公社) 富山県バス協会理事会
	21日	富山県中古自動車販売協会通常総会
	23日	(一社) 富山県自家用自動車協会連合会定時総会
	24日	富山県自動車車体整備協同組合通常総会
	30日	(一社) 富山県自動車整備振興会通常総会
	31日	(公社) 富山県バス協会定時総会
6月	3日	富山県タクシー協会通常総会及び表彰
	6日	第62回富山県トラック運送事業者大会
	13日	富山県軽自動車協会通常総会
7月	12日	(一社) 日本自動車連盟富山支部第1回運営委員会
8月	5日	富山県自動車点検整備推進協議会
	27日	第1回富山県道路安全・円滑化検討委員会
11月	7日	富山運輸支局長表彰式
	7日	(一社) 日本自動車連盟富山支部第2回運営委員会
7年	1月22日	自動車関係団体窓口業務打合せ会議
	1月23日	富山県自動車販売店協会「第62回優良職員表彰式」
	31日	(公社) 富山県バス協会理事会
2月	7日	(一社) 富山県自動車整備振興会第3回理事会
	12日	MOTAS更改に伴うデジタル化の推進説明会(リモート)
	13日	(一社) 日本自動車連盟富山支部感謝の会
	28日	(公財) 富山県暴力追放運動推進センター第2回評議員会
3月	6日	登録・検査業務効率化・DX化関係本省説明
	25日	(公社) 富山県バス協会理事会

14. 刊行物等の作成又は配布

- (1) 自動車会議所ニュース 隔月 各50冊
 ※令和6年夏号からは、ニュースのデジタル化によりメール・FAXにて配信
- (2) 自賠責保険・自賠責共済のご案内 パンフレット 30部
- (3) 令和6年7月1日現在・富山県自動車関係団体役職員録 メール配信
- (4) 交通安全運動関係
 - ①春の全国交通安全運動 ポスター215枚、要綱550冊
 - ②みんなですすめる交通安全県民運動 ポスター255枚
 - ③たっしゅけ気づけられえ運動(6月) チラシ550枚
 - ④交通安全チャレンジ1・2・3運動 ポスター255枚、申込用紙550枚

⑤夏の交通安全県民運動	ポスター３００枚、要綱５５０冊
⑥秋の全国交通安全運動	ポスター２１５枚、要綱５５０冊
⑦たっしゅけ気つけられゑ運動（１０月）	ポスター２５５枚、チラシ５５０枚
⑧年末の交通安全県民運動	ポスター３００枚、要綱５５０冊